

# 雨の水のゆくえ

白山市立北陽小学校

6年2組 10番

瓦智紗乃

## 目次

- 1 目次・動機
- 2 予想・実験①
- 3 結果・考察・予想
- 4 実験②結果④
- 5 結果④考察
- 6 まとめ・感想

## 動機

大雨が降った次の日、ほとんど  
水はなくなっていた。この日は、  
曇りだったのでそんなに早く蒸発  
はしないと思っていた。もし曇りは蒸発  
しにくいとなると、どうして水がなくな  
ったのか気になってこのテーマにした。

# 予想する課題

## 湿度が高いと蒸発しにくいのか ①

予想

蒸発しにくい

理由

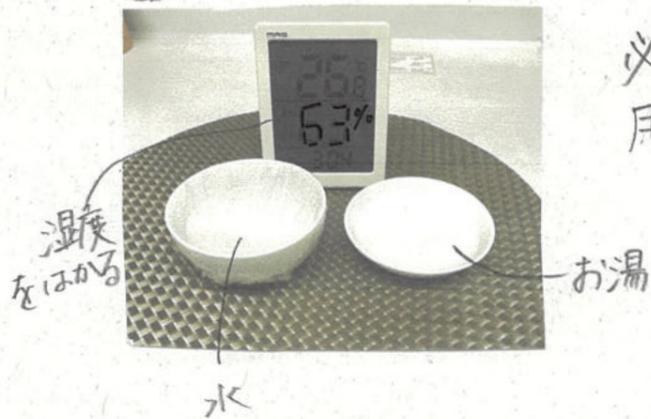
周りに水分がたくさんあると蒸発しにくいと思うから。



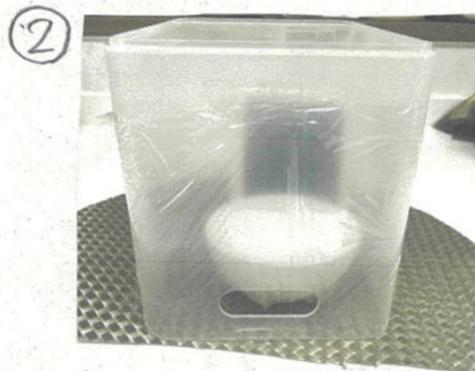
水分

○...水分

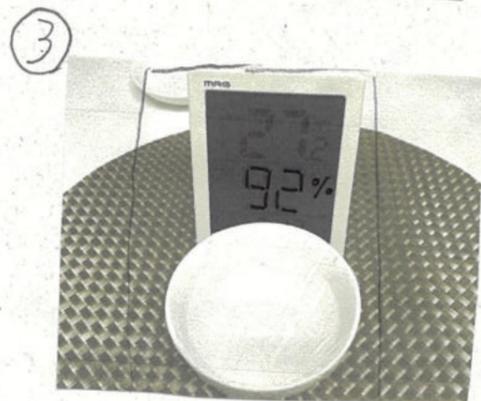
# 実験



必要なものを  
用意する。



ふたをして30分待ち。  
湿度をあげる。



お湯をとり出し。  
ふたをして10時間  
待つ。

# 結果

湿度92%ふたをして10時間後



少し水できが  
ついていたが  
目に見えるほど  
ではなかった。

湿度56%ふたをして10時間後



とても水できが  
ついていた。

# 考察

この結果から湿度が高いと  
蒸発しにくいということが  
分かる。このことから水が蒸発  
してなくなるとは考えにくい。

# 新しく予想する課題

## 道路どういう設計がされているのか

予想

用みぞの方に向かって  
ななめになっている。

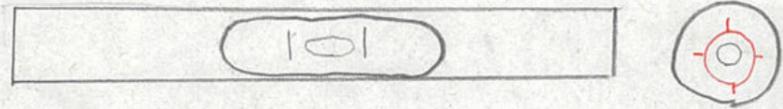
理由

ななめになっていないとずると水が  
たまると思ったから。

# 実験

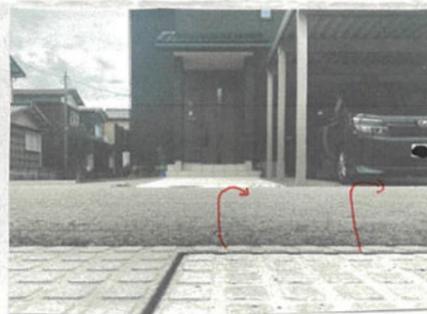
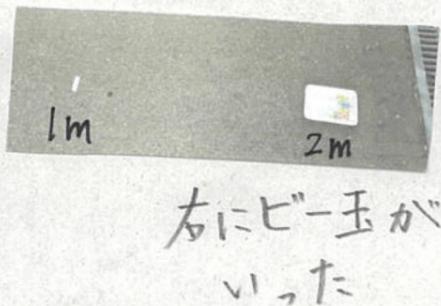
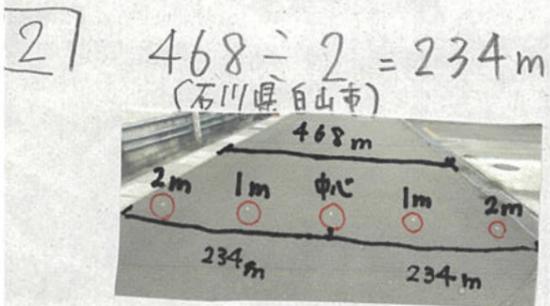
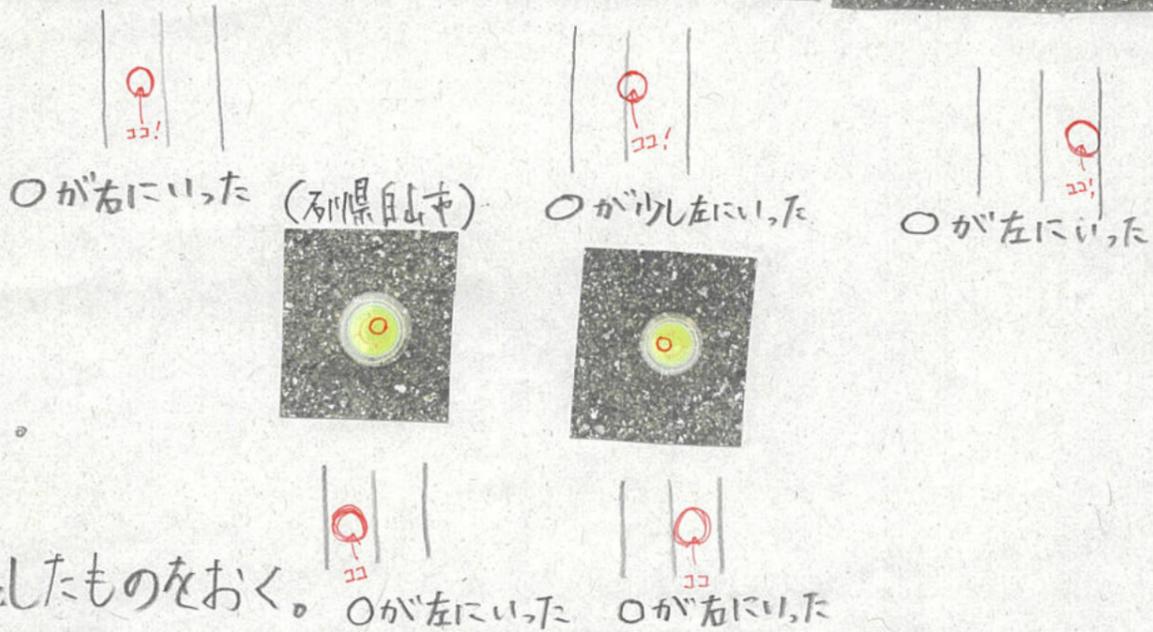
# 結果

- ① 水平器で道路はどういう設計になっているか調べる。



- ② 道路全体の長さを測り、全体の長さから÷2をして、中心にテープをはる。
- ③ 中心から1mずつ測り、テープをはる。
- ④ トレーにビー玉を20個用意する。
- ④ 中心、1m、2mの位置に③で用意したものをおく。

① (富山県富山市)

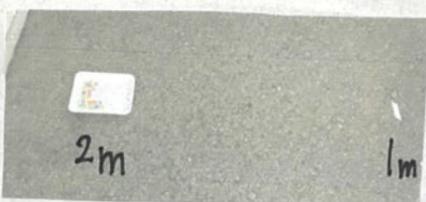
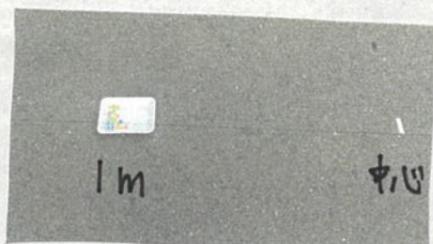
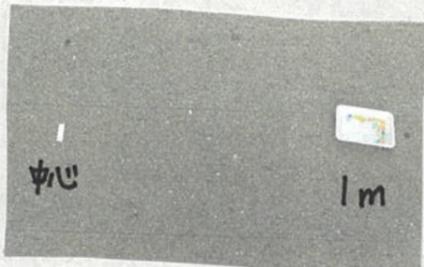
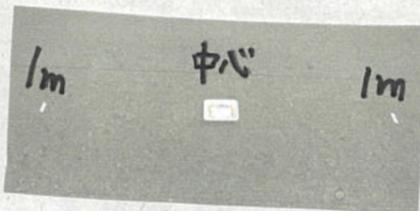


横  
ななめになっていた。

## 考察

この実験結果から道路は中心から外側に向かって下がっていることが分かった。

このことから水はみぞの方に向かって流れ、みぞから用水路に行き、ため水がなくなると考えられる。そしてこの設計は全国共通の設計ということが分かった。



## まとめ

湿度が高くなると蒸発しにくくなる。そして道路は中心から外側に向か、下がっている設計になっていて水が流れるようになっている。

そしてこの設計は全国共通ということが分かった。

## 感想

今回、雨の水のゆくえを調べて、道路の設計、蒸発について知れてよかった。これからここで勉強したことを生かして理科などの授業に生かせたら良いと思う。